



各報道機関担当記者 殿

微小重力による骨代謝のメカニズムを探る

キンギョの培養ウロコの宇宙実験が無事終了

金沢大学環日本海域環境研究センター 鈴木信雄准教授が研究代表者を務め、東京医科歯科大学の研究者らと共同で進めてきた「宇宙空間における骨代謝制御：キンギョの培養ウロコを骨のモデルとした解析」（通称 Fish Scales）が国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟での実験を無事終了しました。

【鈴木信雄准教授のコメント】

Fish Scales の宇宙実験が無事終了いたしました。実験の成功に対し、24時間体制でご支援くださった皆様のお陰と感謝し、今は感慨無量でございます。

この実験を支援してくださった皆様に報いるためにも、今後は、共同研究者と共に、宇宙実験後のウロコの解析に全力を尽したいと思っております。ウロコという非常に優れた骨のモデルを世界に向けて発信していきたいと考えております。

いろいろと、どうもありがとうございました。

参考【実験スケジュール】（すべて日本時間）

5月15日（土）3:20am スペースシャトル打ち上げ

5月17日（月）～20日（木）「きぼう」にて実験

野口聡一宇宙飛行士がサンプルの準備、実験装置への取り付けを行いました

5月26日（水）鱗実験材料がスペースシャトルでケネディ宇宙センターに帰還（予定）

【期待される成果】

宇宙での骨がもろくなる仕組みや骨形成のメカニズムの解明

骨粗しょう症等の骨疾患の治療への応用

※ウロコを用いた宇宙実験の概要、状況は下記ウェブサイトで確認できます

JAXA ウェブサイト 宇宙実験ページ <http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/theme/second/fishscales/>

担当：

金沢大学総務部広報戦略室 福田

TEL：076-264-5016

FAX：076-234-4015

E-mail：koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

※本日（21日）は19時30分まででお願いします